

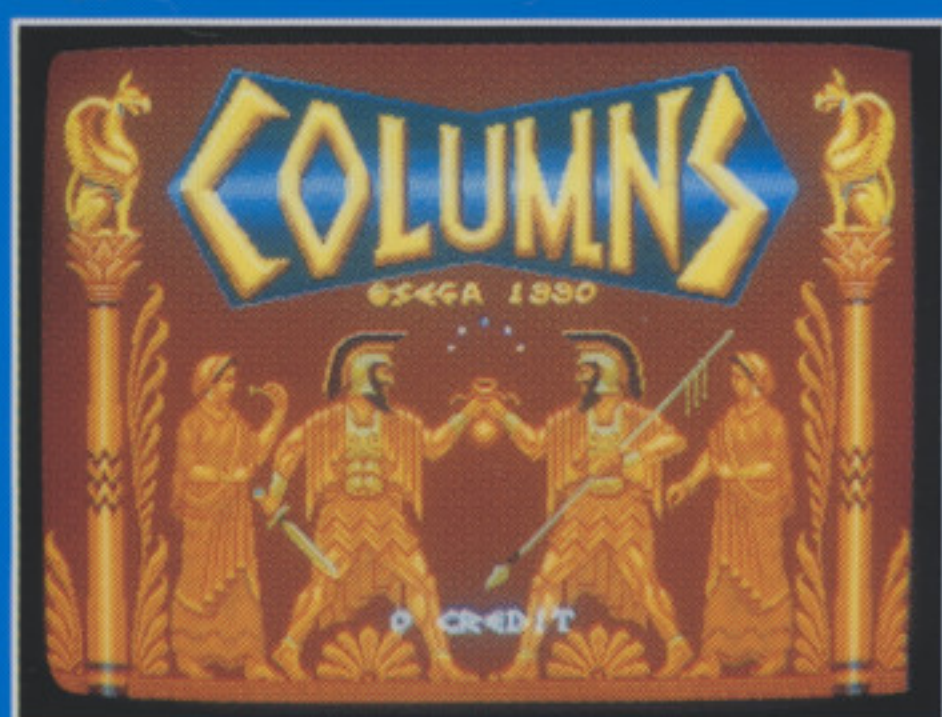
SEGAAGES 2500

COLUMNS

SEGAAGES 2500
Series Vol. 7

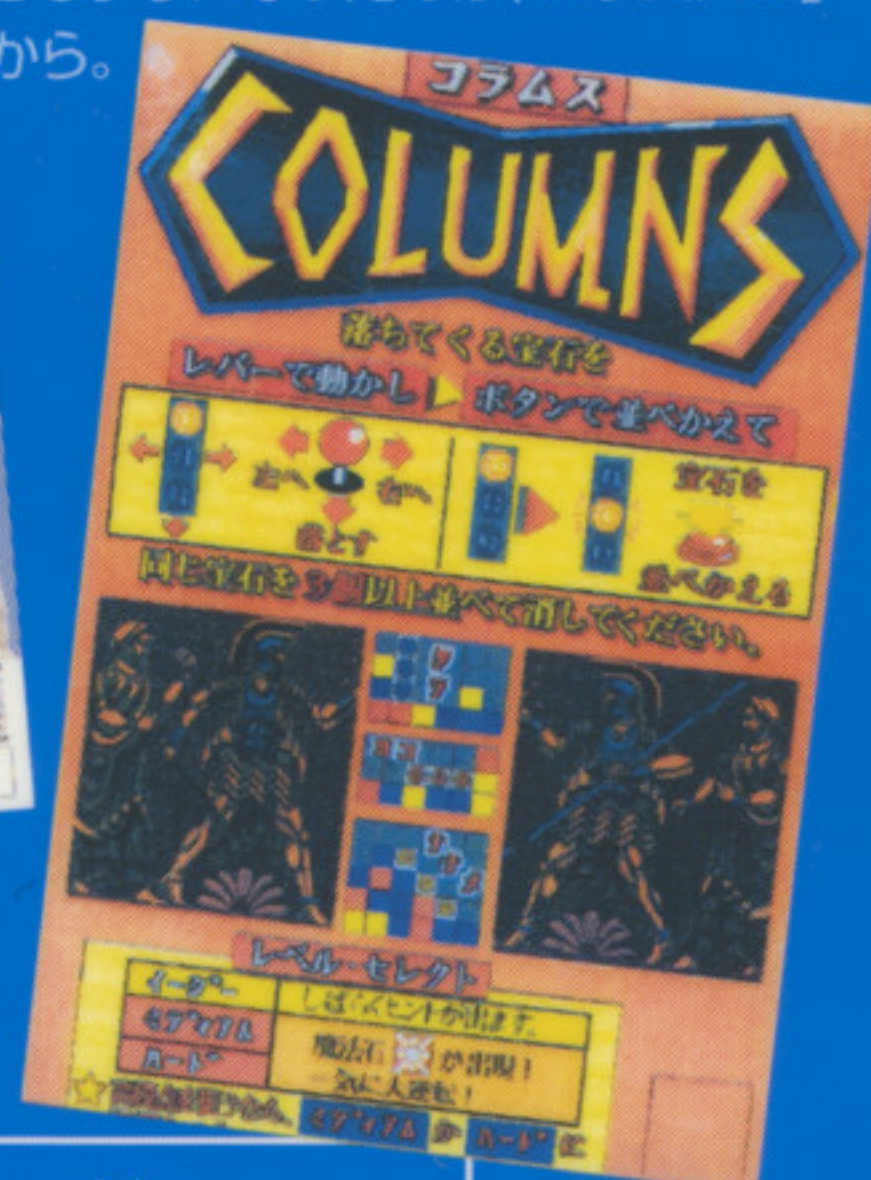
コラムス

- アーケード
- 1990年
- パズル
- Cボード



魔法石は同色の石をすべて消せる。のちに画面上方にはみ出させて2回使う技も発見された。

プロッシャーの「古代フェニキア伝説のゲーム」というコピーは、今見ると爆笑モノ？ 左右のエリアで2人プレイが可能だが特に連動はない。対戦できるようにになったのは「コラムスII」から。



COLUMNS

コラムス

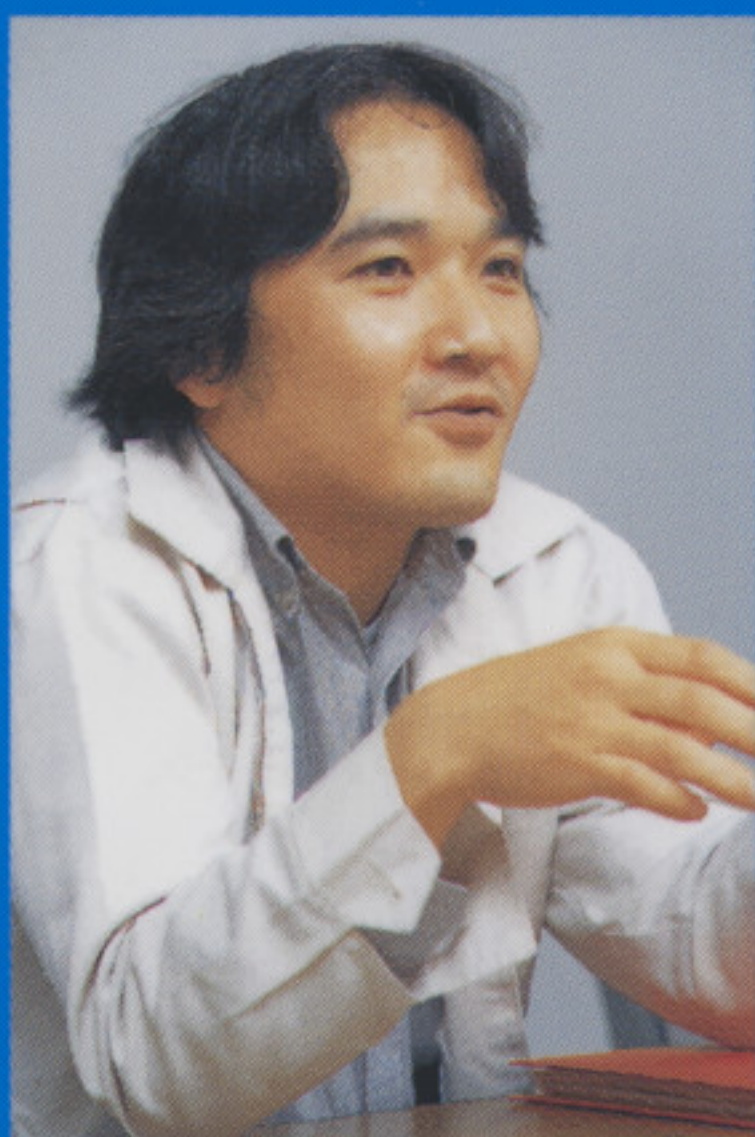
- アーケード
- 1990年
- パズル
- Cボード

セガ落ちものパズルの革命児

「テトリス」の熱もさめやらない'90年、落ちもの系パズルの革命児的存在として名を残しているこの「コラムス」。3個1組で落ちてくる宝石を入れ替えて、同色で縦横斜めいずれか3個以上並べて消すというシンプルなルールが好評を博した。宝石という着眼点とエキゾチックな雰囲気やBGMが、当時UFOキャッチャーなどの登場によってゲームセンターに足を運び始めていた女性ファンの心をキャッチした。当時家庭用「テトリス」の著作権問題で迷走していたセガの落ちものパズルだったが、この作品で息を吹き返したとも言える。以降多くのマシンに移植され、現在も愛されている名作だ。



CREATOR'S NOTE 偶然の産物がもたらしたヒット作



協原■ももとはUNIXのワークステーションに入っていた「コラムス」というゲームだったんです。これに魔法石などの新ルールを加えて、4人で3カ月で作りました。当時社内ですらいろいろと評価を聞いて、落ちたあ

株式会社セガワウ

協原一雄

.....
アーケード、メガドライブ版両方の「コラムス」を手がけたプログラマ。ランキングのイニシャルを縦読みすると氏の名前が。

とも若干動かせたり、8ドット単位で落としたりとある程度はチューニングしたんですが、後半はほとんど偶然の産物みたいな感じでしたね。魔法石を2回使える技も実は社内ロケテストで見つかったバグをそのまま残したものですから(笑)。でも当時はOLさんたちが100円玉を積んでずっと遊んでいるのを見たときは感激しましたね。今でも手軽に遊べると思うので、ぜひハマってほしいですね。